

G20: 時宜を得たフォーラム

李明博大韓民国大統領

[スピーチの印刷版をご希望の方はここをクリックしてください。](#)

低解像度の[PDF](#)バージョンをダウンロードしたい方はここを右クリックするか、[Newsdesk](#) サイトをご覧ください

持続可能な経済成長を遂げるには、富裕国、貧困国を含む全ての国の声が反映されていることが重要である。先進国と開発途上国間の格差を埋めなければならない。

昨年の今頃は、世界を再び大恐慌へ追い込む経済不振の可能性について、悲観的見解がまだ主流でありました。幸いなことに、実際の結果は、当初予測されていた最悪事態よりも軽度となっています。このような予想以上に良好な結果は、G20という先進および新興国による、過去に例を見ないレベルの協働政策に拠るところが大きいと言えます。今日まで証明可能な成果を積み重ね、G20は、国際経済協力のための主要フォーラムとしての新たな地位を築き上げました。今年のG20は、景気回復に向けて政策を連携することに努めます。しかし、それ以上に重要な課題があります。今年、G20は、長期間におよぶ経済政策の連携に向けて、決定的な一步を踏み出します。G20は、何ヶ月先、何年先に持続可能で均衡の取れた世界経済が確実に成長しているような、長期的経済協力の基盤を構築しなければなりません。

皮肉なことに、世界経済が予想以上に順調な回復を見せると、世界各国間で経済政策を連携するのが難しくなります。危機が猛威を振るっている間は、効果的な政策連携の必要性を説き理解を得るのは非常に容易です。しかし目先の危機が勢いを失うにつれて、比較的平穏な状況に伴いがちな自己満足や油断に対して注意が必要となります。さらに、出口戦略に適したペースや順序、公的債務の持続可能なレベルなどの見解に、当然ながら差異が生じる可能性もあります。このような差異があると、当事者間の合意到達が更に難しくなります。標準的な政策姿勢への移行を、諸国間で可能な限りの連携を目標とするべきです。各国の経済政策は、他国との協調の中で追求されてこそ効果を極めるのです。その結果、世界各国に、それぞれの政策を他国と協調させようという意向が生まれるのです。

G20の課題のひとつは、金融規制の改善、国際金融機関の改善、および強靱、持続可能および調和のとれた成長のための枠組みの実施において、過去のサミットで締結されたプランや合意を遂行することです。G20の首脳陣は金融安定理事会および世界通貨基金に対し、銀行資本規制の改善、破綻不可能な巨大機関の問題、および金融セクター内での負担分割について明確な提言を示すという課題を与えました。韓国はこれらの分野において、2010年G20の議長として、世界的な金融規制制度が安定した概念的基礎に基づいて徹底的に調査され、かつ効率的に実施されるよう多様な取り組みを調整しています。

過去においては、金融規制改善は先進国の経験が原動力であったと言っても間違いはないでしょう。その先進国が、最近の金融危機の地理的発端でした。しかし、その影響が世界的な規模で広がっている限り、責任の所在を追及しても気休めにはなりません。したがって、統一的な世界経済および雇用における異なる利益の相互依存を認識し、諸国が協力して問題を解決する方が望ましいのです。

マクロ経済的不均衡を解消するための枠組みを検討する際にも、これと同様の前向きな姿勢が不可欠です。他国の責任を追求するよりも、G20参加国がピッツバーグで合意した強靱で持続可能な、均衡の取れた経済成長を実現する最良の方法を各国自らが問うべきなのです。

狭義でのマクロ経済的なバランスを追求するだけでは、この均衡のとれた持続可能な経済成

長は達成することはできません。先進国と開発途上国との間の格差を埋めるなど、広い意味でのバランス再構築が適切と言えます。このようなバランスの再構築は、世界経済において真に均衡のとれた経済成長の主要部分です。このような課題は、G20の使命として取り組まれるべきです。

このように、開発途上国にとって非常に重要で緊急を要する問題が山積みになっているという事実を私たちは忘れてはなりません。韓国は開発問題を、2010年11月11日から12日にかけて開催されるソウルサミットの議題に明確に組み入れます。

過去数十年に渡る援助政策の経験により、開発に必要なのは援助だけではないということが分かりました。ある特定の国を貧困から救出できるような経済成長を軌道に乗せるには他に何が必要なのか、今まで以上に真剣に考えなければなりません。

韓国は、持続可能な経済成長期間が貧困対策として効果的であることを知っています。今や韓国は経済協力開発機構の先進国の一員となりましたが、経済発展の実際経験も記憶に新しい国です。さらに韓国は、金融危機の破壊的影響力や、力強い景気回復を安定させるために必要な努力も経験済みです。それゆえ韓国は、経験と知識を新興および先進諸国と分かち合うのに適した立場にあります。韓国が、G8の先進国陣のランク外にある国として初めてG20の議長を務める国であることには重要な意義があるのです。

開発を重要課題としてアジェンダに盛り込むにあたり、韓国は、G20に代表されていない国が多数あるという事実を積極的に認識しています。したがって韓国は、協議相手をG20参加国に制限するのではなく、G20という枠の外へもパートナーシップを広げてゆきます。韓国は、国連やその他の地域団体と協議し、広範囲に及ぶアウトリーチに努めます。私は、強靱で持続可能な経済成長の恩恵が、貧困国を含む全ての国の間で確実に平等に分配される重要性を、強調して止みません。

韓国が11月のG20サミットにもたらす、その他の重要なイニシアティブについて簡単に述べたいと思います。国際的資本の逆行問題に取り組むため、流動性資産危機の破壊的影響を回避できるような世界的規模の金融安全網の確立をアジェンダに盛り込みます。近年の金融危機による経験から、金融市場が経済原則から隔離し始めた際に、混乱を食い止めるための体系的対応策を有することの重要性は、世界各国が周知しています。

諸国政府の協働により世界経済は今のところ安定していますが、民間セクターからの投資および雇用創出は未だ強固と言うには程遠いものです。耐性のある景気回復を達成するには、民間投資の再活性化および増大へと続かなければなりません。雇用創出および民間セクターからの投資は優先的に考慮されるべきでしょう。民間セクター強調の一環として、韓国は11月のG20サミットと同時進行でビジネスサミットを開催する予定です。

最近の金融危機により、各国の経済がいかに綿密にグローバル経済と一体化しているかを、私たち誰もが痛感しました。私たちの生活に影響を与えるのは、近隣諸国に起こる事象だけではありません。地球の裏側で起こっている事象も、私たちの日常生活に影響を与えるほど各国経済とグローバル経済は一体化しているのです。

以上のことから、G20は非常に時宜を得たフォーラムであると言えます。先進諸国だけでなく主要新興諸国も結集するため、G20は、世界的な問題に取り組むために必要な規模と視野を備えています。11月にソウルで開催されるG20サミットは、定期的な国際経済協力フォーラムとしての地位を定着させることを目的としているため、この新しいグローバルフォーラムにとって最初の重要な試練となるでしょう。私は、G20首脳陣が、サミットの成功に向けて全力を尽くすと約束できます。

近年の金融危機は世界各国の結束を固め、各国の協働によって効果的な危機対応策を生み出しましたが、今後更に長期的な問題に対処するために、真のグローバルリーダーシップの役割を担え得るフォーラムの設立へと現勢を移行するのは、私たちすべての任務です。国際社会を落胆させないよう努めようではありませんか。